

## ゲーテの会

日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて  
-日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う-

「西の文化」の彼方に「東の文化」を想像した人物  
(Part Ⅲ 思想・文学分野)

## 西田幾多郎と近代日本

講師：佐伯 啓思 先生

## 【講演要旨】

「西田幾多郎は明治3年（1870年）に生まれ、昭和20年（1945年）に亡くなりました。まさに「近代日本」を代表する哲学者であり、思索家でした。西洋哲学への深い造詣をもとに、日本独自の哲学の構築を模索しました。京都帝国大学に赴任してきたのが41歳で、その次の年に出版された『善の研究』は、まさに西田哲学の出発点であるだけでなく、日本人の手になる最初の体系的な哲学書といってよいでしょう。ここで提出された有名な「純粹経験」の概念を発展させて、「絶対無」や「無の場所」という独特の考えを導き出してゆきます。

「無の哲学」ともいわれる西田哲学は、超難解だとしばしばいわれます。確かに彼の論文はたいへんに読みにくいものです。しかし、「無の哲学」の「無」という観念は、われわれ日本人には論理を超えて直感的にわかることがあります。「神」のような「絶対的な存在」から出発する西洋の思想に対比すれば、われわれには、物事の根底には「無」がある、という思想は比較的なじみやすいでしょう。この講義では、西田哲学の詳細な解説ではなく、その輪郭を論じ、日本思想との連関に触れることができると思います。」

## 【講師略歴】

1949年生まれ。京都大学名誉教授、京都大学こころの未来研究センター特任教授。共生文明学、現代文明論現代社会論、社会思想史を研究テーマとし、現代社会を文明論的観点から捉え、政治、経済の分野を中心に広く評論活動をおこなっている。著書に『自由とは何か』（講談社現代新書 2004年）、『日本という「価値」』（NTT出版 2010年）、『現代文明論講義ニヒリズムをめぐる京大生との対話』（ちくま新書 2011年）、『西欧近代を問い直す』（PHP文庫 2014年）、『20世紀とは何だったのか』（PHP文庫 2015年）など多数。

日時： 2016年 5月 24日 (火) 18:00～20:30

会場： 公益財団法人国際高等研究所

参加費： 2,000円 (交流・懇談会費用を含む)

定員： 40名 (申し込みが定員を超えた場合は抽選)

申込： 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします

詳細： <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

しめきり

5月20日(金)

必着



# 参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9 丁目 3 番地

公益財団法人国際高等研究所

けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：森口)

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第 35 回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2016 年 5 月 24 日 (木) 開催		
お名前		
ご所属		
部 署		
役 職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

